



生徒と創る学びの情景

トライ&エラーの先に

愛知県立安城南高校 ^{あんじょう}松岡 駿先生

「自分の手を動かすからこそ感じられることを大切にしたい」と、身近にある化学を理解できるような実験に力を入れている松岡先生。赴任当初は講義中心の授業だったが、抽象的な学習内容に苦戦する生徒を見て、実験を増やすほかにも、モルをダースに例えて説明したり、目に見えない現象を動画で可視化するなど、工夫を重ねてきた。「1つ理解できると、『なぜ?』と疑問が湧き、『知りたい』という意欲になって次の学びに挑戦し、理解しようとする努力につながるはず。多くの学びのトライ&エラーから得られる教訓を、その後の人生で生かしてほしい」。それが、松岡先生の思いだ。実験を楽しみにしているという生徒は、「生活の何気ない現象の原因や仕組みが説明できると分かったことで、化学を深く知りたくなり、授業を頑張っています」と、自身の変化を語る。

松岡先生が今考えているのは、生徒数人に問題の解答を渡し、その生徒たちが先生役になる学び合いだ。「生徒に発問して考えさせる機会を増やしてきましたが、生徒同士での学び合いによって、教師からは得られない気づきや考えの深まりにつながることを期待しています」。教師の新たな挑戦が生徒の学びを前に進めていく。

まつおか・しゅん 同校に赴任して6年目。2学年主任。生徒指導部。理科(化学)。

愛知県立安城南高校 1983(昭和58)年設立/全日制/普通科/共学/1学年約300人/2022年度卒業生進路実績 国公立大は、信州大、愛知教育大、名古屋大、国際教養大、愛知県立大などに8人が合格。私立大は、愛知大、中京大などに延べ343人が合格。短大・専門学校進学109人。就職43人。

お客様サービスセンター

フリーダイヤル **0120-350455** [受付時間] 月~金8:00~18:00/土8:00~17:00(祝日、年末・年始を除く)